

2015年7月15日

スバル「アイサイト」を搭載するレヴォーグ／WRX S4／レガシィが 2015年度予防安全性能アセスメントで最高ランクのJNCAP「先進安全車プラス(ASV+)」を獲得

このたび、スバル独自の運転支援システム「アイサイト」を搭載するレヴォーグ／WRX S4／レガシィ(アウトバック/B4)*1が国土交通省と独立行政法人 自動車事故対策機構(NASVA)*2が実施する、2015年度予防安全性能アセスメントにおいて、評価点で満点を獲得し、最高ランクであるJNCAP*3「先進安全車プラス(ASV+)*4」を獲得しました。

2015年度予防安全性能アセスメントは、2014年度の評価対象となっている衝突被害軽減制動制御装置(AEBS)*5[対車両]と車線逸脱警報装置(LDWS)*6に加え、ドライバーが直接確認することが困難な後方の視界情報を車内のモニターに映し出す装置(バックビューモニター)の評価として、後方視界情報提供装置の試験が実施され、レヴォーグ／WRX S4／レガシィは46点満点で、「ASV+」を獲得しました。

スバル車は、これまでに実施された予防安全性能アセスメントにおいて、アイサイトを搭載するすべての車種が「ASV+」を獲得しており、アイサイトを核とした予防安全性能の高さを実証しています。

また、レヴォーグ／WRX S4・STIには後側方警戒支援機能といった、より高い安全性を実現する「アドバンスドセーフティパッケージ」を採用*7するなど、さらなる安全性能の追求に取り組んでいます。

<ご参考>

■試験結果詳細(NASVA ホームページ)

http://www.nasva.go.jp/mamoru/active_safety_search/list_search_subaru.html

■スバルオフィシャルウェブサイト(スバルの総合安全)

<http://www.subaru.jp/safety/>

- *1: アイサイト(ver.3)搭載車／リヤビューカメラ搭載車
- *2: National Agency for Automotive Safety & Victims' Aid
- *3: Japan New Car Assessment Program
- *4: Advanced Safety Vehicle +
- *5: Autonomous Emergency Braking System
- *6: Lane Departure Warning System
- *7: メーカー装着オプション



先進安全車プラス(ASV+)

